

東京都立水元小合学園 通信

令和8年3月(通算137号)

東京都立水元小合学園 校長 小池 巳世

SNS

随時更新中



卒業式で思い出すこと

統括校長 小池 巳世

今年の桜の開花予想は例年より早いようで、東京は春休み中には満開を迎えるようです。「桜と入学式」からだんだんと「桜と卒業式」になってきているのを感じます。本校では、18日に肢体不自由教育部門高等部、20日に就業技術科、24日に肢体不自由教育部門小学部・中学部の卒業式が行われます。卒業生の皆さん、保護者の皆様、御卒業、おめでとうございます。

卒業式には、これまで担任としてはもちろん、司会者等として、そして副校長、校長になって様々な学校の式に出席してきましたが、その中で必ず毎年思い出す式の光景があります。私の初任は肢体不自由特別支援学校(当時は養護学校)中学部でしたが、当時は全教職員が学校生活最後となる高等部の卒業式に出ることになっていました。その式次第の中に「卒業生保護者代表の言葉」があり、その中で保護者の方が、子供が生まれて障害があると分かり、この子を育てていくことはできないと思い親子二人で崖から飛び降りようとしたという話をされました。式は今から40年近く前のことですから、お子さんが生まれたのはさらに18年前。障害のある子を育てる大変さは本などでしか知らず、御本人からその時からの思いや対応を聞くことは初めてだったので大きな衝撃を受けました。思いとどまった我が子が高等部卒業を迎えるまでに成長した喜びと御苦労も話され、私にとって忘れられない式となりました。卒業式では、卒業する児童・生徒に、これからも頑張ると思う気持ちと共に、保護者の方や御家族のこれまでの月日に大きな敬意の思いをもって見送っています。卒業式の際は、保護者の方も卒業生と同じように、出席者からの拍手を受けていただければと思います。

さて、今年度の学園通信もこれが最終号となります。今年度は、日頃児童・生徒のより近くにいる副校長からの記述を増やしましたが、いかがだったでしょうか。先日の保護者会でもお伝えしましたが、今年度の様々な学校の教育活動に御理解、御協力いただき、ありがとうございました。

最後になりますが、新年度に向けて、教員の異動について東京都教育委員会からプレス発表が予定されており、3月19日に新聞等と教育委員会のホームページからとなります(報道のされ方は各報道機関により異なります)。児童・生徒へは、25日の修了式の日で退職・異動する教職員とのお別れの場を設ける予定です。保護者の方へは学校から、今年度中は退職者・転出者、新年度の始まりに退職者・転出・転入者をお伝えする予定です。